

# 2015年度 第2四半期 決算説明会

三菱自動車工業株式会社  
2015年10月27日

## 2015年度 第2四半期 業績サマリー【6ヶ月累計、前年同期対比】



前年同期に対し増収・減益 上期計画を達成

(単位: 億円)

	FY14 2Q ( '14/4-'14/9)		FY15 2Q ( '15/4-'15/9)		増減		期初計画 (4/24公表)		増減	
	実績	実績	差異	率	差異	率	差異	率	差異	率
売上高	10,351	10,698	+347	+3%	10,200	+498	+5%			
営業利益 (利益率)	627 (6.1%)	584 (5.5%)	-43	-7%	500 (4.9%)	+84	+17%			
経常利益 (利益率)	736 (7.1%)	585 (5.5%)	-151	-20%	520 (5.1%)	+65	+13%			
当期利益 <sup>※</sup> (利益率)	609 (5.9%)	521 (4.9%)	-88	-14%	410 (4.0%)	+111	+27%			

※親会社株主に帰属する当期純利益

## 2015年度 第2四半期 実績

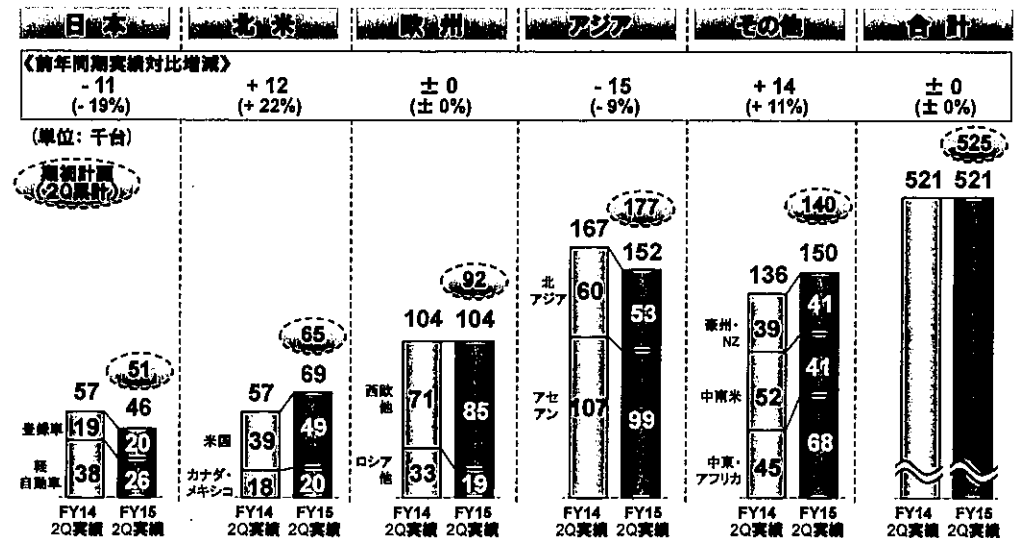


新型「パジェロスポーツ」

## 2015年度 第2四半期 小売台数実績【6ヶ月累計、前年同期対比】



日本、アジアでの減少を北米、中東・アフリカなどの増加で補い前年同期並みで推移



※注) 15年度第2四半期小売台数実績は通算値。

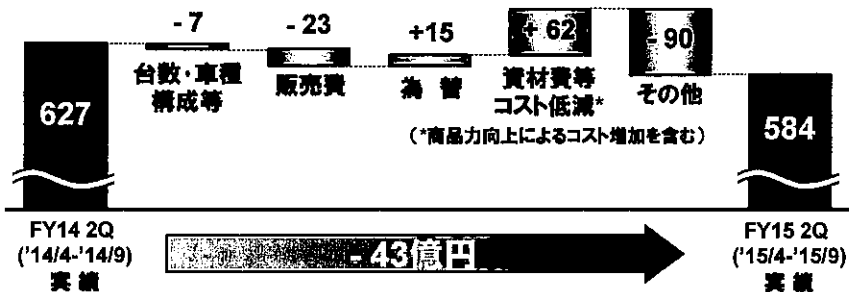
市場措置費用の増加等により減益

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-21
北米	+63
欧州	-6
アジア	-61
その他	+18

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY14	FY15	
米ドル	103	122	+184
ユーロ	139	135	-27
豪ドル	98	92	-26
タイバツ	3.19	3.58	-53
英ポンド	172	189	+34
ロシアルーブル	2.91	2.15	-82

その他の主な内訳	
研究開発費	-41
市場措置費用	-68
輸送費 他	+19

(単位: 億円)



通期業績見通し



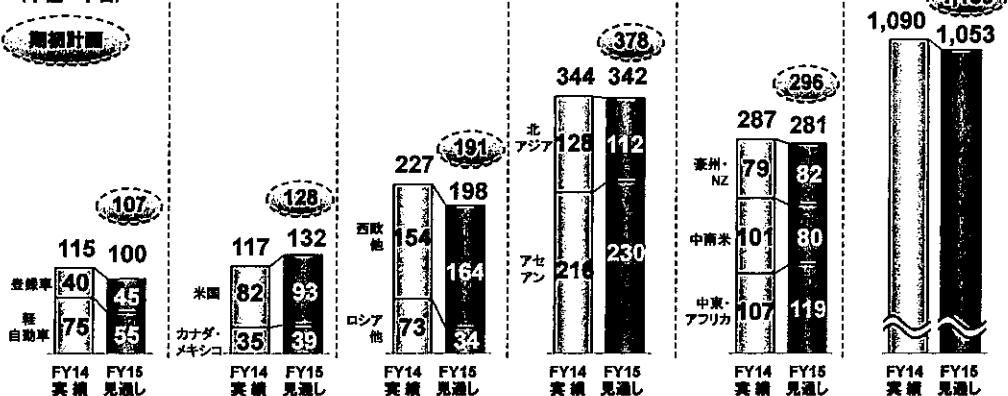
「eKカスタム」

2015年度 小売台数見通し【前年度対比】

米国、西欧で伸長するも、全体では微減

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
-15 (-13%)	+15 (+13%)	-29 (-16%)	-2 (-1%)	-6 (-2%)	-37 (-3%)

(単位: 千台)



2015年度 業績サマリー【前年度対比】

売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

	FY14 ( '14/4-'15/3)		FY15 ( '15/4-'16/3)		増減 差異	率	期初計画 (4/24公表)
	実績	見通し	見通し	見通し			
売上高	21,807	22,800	22,800	22,800	+993	+5%	22,800
営業利益 (利益率)	1,359 (6.2%)	1,250 (5.5%)	1,250	1,250	-109	-8%	1,250 (5.5%)
経常利益 (利益率)	1,516 (7.0%)	1,300 (5.7%)	1,300	1,300	-216	-14%	1,300 (5.7%)
当期利益 (利益率)	1,182 (5.4%)	1,000 (4.4%)	1,000	1,000	-182	-15%	1,000 (4.4%)

増減内訳	
台数・車種構成等	+200
販売費用	-40
為替	-220
資材費等コスト低減	+200
開発費	-74
固定資産売却	-55
市場措置費 他	-120

\*親会社株主に帰属する当期純利益

## 上期の振り返りと下期以降の取り組みについて



第44回東京モーターショー2015出展車『Mitsubishi eX Concept』

8

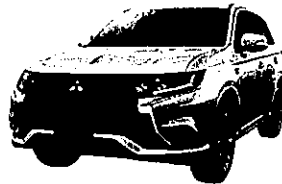
### 下期の取り組み



#### 日本

##### ◆ 昨年度に引き続き、通期での黒字を目指す

- 新型『アウトランダーPHEV』の刷新されたデザイン、更に進化した走行性能及び車からの給電機能を訴求
- 新型『アウトランダー』の販売増加
- ダイナミックシールドを採用した『eKカスタム』の新年式車を投入



#### 北米

##### ◆ 昨年度に黒字転換。今年度は更なる利益拡大を図る

- 8月に本格販売を開始した新型『アウトランダー』は市場からの評価が高く、確実に小売販売に結びつける

#### 西欧

##### ◆ 環境対応車の需要拡大に的確に対応していく

- 『アウトランダーPHEV』の環境性能に加え、SUVならではの実用性、4WDによる走行安定性、大幅なデザイン刷新など商品力の強化を訴求

10

### 上期の振り返り



- ◆ 当社の主要市場である新興国の経済が低迷する中、コスト削減努力や為替の好転もあり、上期営業利益は期初計画を上ぶれて着地
- ◆ 前年同期比で1Q(4~6月)は減益であったが、2Q(7~9月)は増益に転ずる
  - ✓ 日本、北米、欧州、豪州の台数車種構成が改善
  - ✓ 新型『アウトランダー』『アウトランダーPHEV』が貢献
- ◆ 米国工場の生産終了を決定。生産体制の再構築を進める
- ◆ タイでの新型『トライトン』の販売が伸び悩む
- ◆ 日本における当社軽自動車販売の進捗の遅れ

9

### 下期の取り組み



#### タイ

##### ◆ 市況は依然低迷。商品の競争力アップ及び販売網の強化を図る

- 新型『パジェロスポーツ』はデザイン、装備仕様が高評価で、発表後2ヶ月間で1万台を超える事前予約
- 販売店の更なるサービス向上を図る



#### インドネシア

##### ◆ 将来の潜在力は高い。アセアンでの生産体制強化に向けて、新工場への投資を計画通り進める

- 8月に発売した新型『トライトン』の販売増加

#### フィリピン

##### ◆ タイ、インドネシアと並ぶアセアンの重要国として更なる強化を図る

- 主力車種である『パジェロスポーツ』の新型車を第4四半期に投入



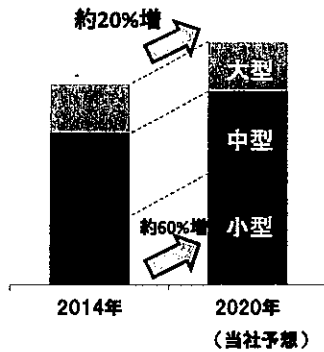
建設中のインドネシア新工場

11

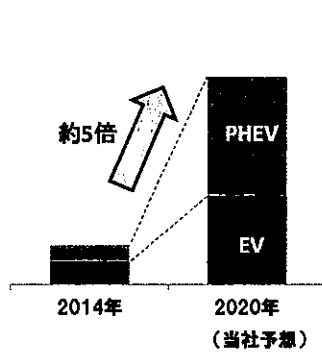
市場の見通し

- ◆ 全世界ではSUVセグメントが最も高い成長率
- ◆ クラス別では中型と小型の市場が大きく、小型で最も高い成長率
- ◆ 電動車両(EV+PHEV)市場は20年には14年度対比で約5倍に拡大

SUVクラス別需要予測



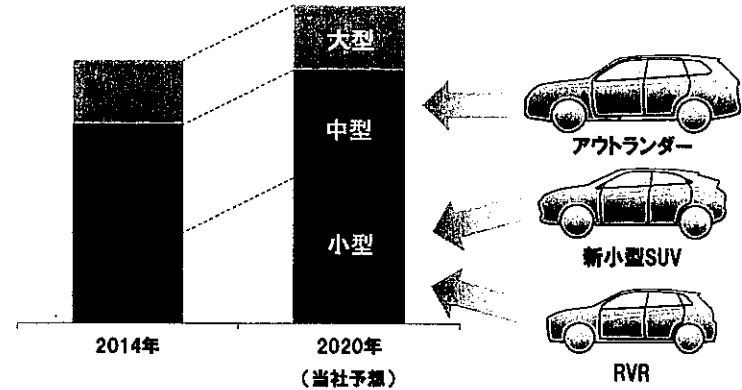
電動車両の需要予測



当社の取り組み

- ◆ 市場の変化を見据え、中型から小型のSUVラインアップを充実
- ◆ これら全てに電動化技術を装備

SUVクラス別需要予測



まとめ

■ 2015年度 第2四半期実績

前年同期に対し増収・減益 上期計画を達成

- 販売台数(小売)：前年同期並みの521千台
- 販売台数(卸売)：前年同期比 4%減少の 603千台
- 売上高：前年同期比 3%増収の 10,698億円
- 営業利益：前年同期比 7%減益の 584億円
- 経常利益：前年同期比 20%減益の 585億円
- 当期利益\*：前年同期比 14%減益の 521億円

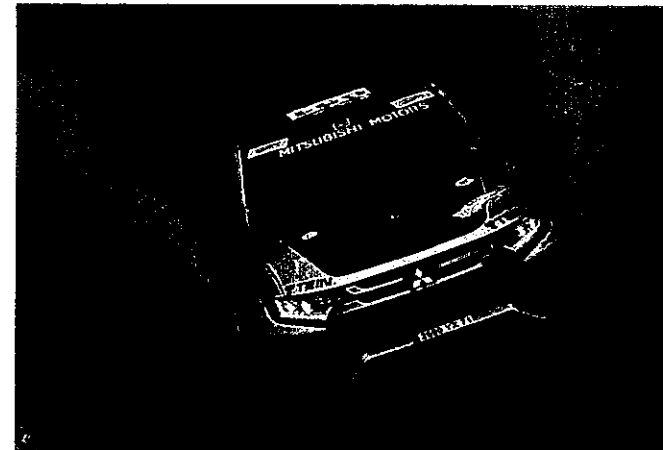
■ 2015年度通期見通し

売上・利益ともに期初公表計画から変更なし

- 販売台数(小売)：前年比 3%減少の1,053千台
- 販売台数(卸売)：前年比 3%減少の1,251千台
- 売上高：前年比 5%増収の 22,800億円
- 営業利益：前年比 8%減益の 1,250億円
- 経常利益：前年比 14%減益の 1,300億円
- 当期利益\*：前年比 15%減益の 1,000億円

\*親会社株主に帰属する当期純利益

Appendix



「パハ・ポルタレグレ500」参戦車 新型「アウトランダーPHEV」

(単位: 億円、千台)

	FY15 1Q ('15/4-6)	FY15 2Q ( '15/7-9)	FY15 2Q累計 ( '15/4-'15/9)
売上高	5,005	5,693	10,698
営業利益	186	398	584
経常利益	241	344	585
当期利益	240	281	521
販売台数(小売)	262	259	521
販売台数(卸売)	291	312	603

売上レート(円)

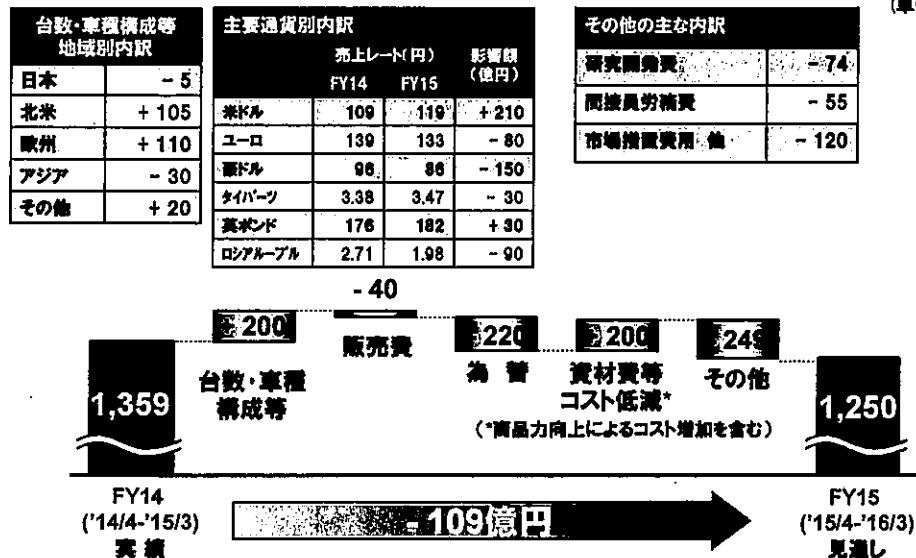
	FY15 1Q ( '15/4-6)	FY15 2Q ( '15/7-9)	FY15 2Q累計 ( '15/4-'15/9)
米ドル	121	122	122
ユーロ	133	136	135
豪ドル	94	90	92
タイパーツ	3.68	3.49	3.58

(単位: 億円)

	FY14 2Q ( '14/4-'14/9) 実績	FY15 2Q ( '15/4-'15/9) 実績	増減
売上高	10,351	10,698	+347
- 日本	2,127	1,839	-288
- 北米	1,170	1,794	+624
- 欧州	2,773	2,476	-297
- アジア	1,983	1,920	-63
- その他	2,298	2,669	+371
営業利益	627	584	-43
- 日本	-20	-36	-16
- 北米	-15	59	+74
- 欧州	236	95	-141
- アジア	233	291	+58
- その他	193	175	-18

2015年度 営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

(単位: 億円)

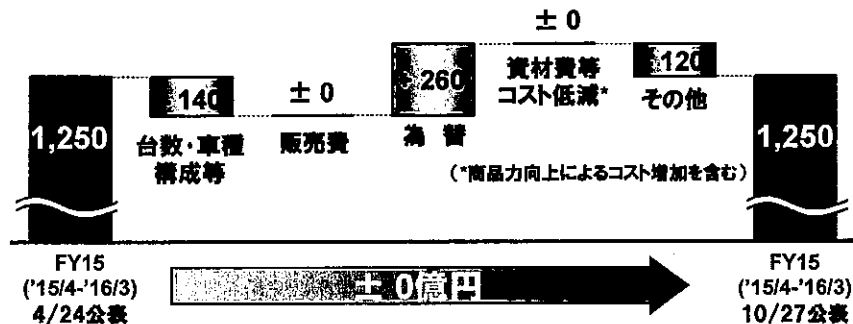


2015年度 地域別業績見通し 【前年度対比】

(単位: 億円)

	FY14 実績	FY15 見通し	増減
売上高	21,807	22,800	+993
- 日本	4,453	4,200	-253
- 北米	2,758	3,400	+642
- 欧州	5,144	5,000	-144
- アジア	4,245	4,800	+555
- その他	5,207	5,400	+193
営業利益	1,359	1,250	-109
- 日本	20	0	-20
- 北米	5	120	+115
- 欧州	391	160	-231
- アジア	566	690	+124
- その他	377	280	-97

台数・車種構成等 地域別内訳		主要通貨別内訳 売上レート(円)			その他の主な内訳 (単位: 億円)	
		4/24		10/27	影響額 (億円)	
日本	±0				子会社経費削減	+20
北米	+40	米ドル	117	119	市場推廣費用 他	-140
欧州	-90	ユーロ	127	133		
アジア	-10	豪ドル	90	86		
その他	-80	タイバーツ	3.74	3.47		
		英ポンド	174	182		
		ロシアルーブル	2.10	1.98		



	(単位: 億円)		
	FY14 2Q (*14/4-'14/9)	FY15 2Q (*15/4-'15/9)	FY15 (*15/4-'16/3)
	実績	実績	見通し
設備投資 (前年同期比)	228 (-30%)	354 (+55%)	1,050 (+54%)
減価償却費 (前年同期比)	252 (-3%)	258 (+2%)	600 (+13%)
研究開発費 (前年同期比)	344 (+9%)	385 (+12%)	820 (+10%)

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

